

年度はじめ訓示

令和6年度がスタートしました。

私は、令和5年度をコロナ禍から通常生活への回復や、物価高騰など目の前の課題の対応だけでなく、将来の町民の幸福や持続可能性の実現に向けた投資“未来への投資”として、事業を展開してまいりました。概ね順調に推移してきたと感じています。

そして、令和6年度では、その未来への投資を生きた事業にするための取り組みとするため、目まぐるしく変化する情勢に対し、町民の暮らしを守り、もしくは機会ととらえ“変化を豊かさに”を掲げ、皆さんと一緒に町政の運営を行っていきたいと考えています。

皆さんに基本的なことを3つとレベルアップしてもらえよう1つを訓示します。

1つ目は、「漫然と事業をしないこと」です。この事業が方針と合っているか？住民にとって良いことなのか？そういうことを振り返りながら、検証しながら、進めていっていただきたいと思います。そして、必要があれば、上司と相談し、時には、止めるという選択肢も必要です。

2つ目は、「スケジュール感を持つこと」です。どの事業にも期限があります。期限内に終わらせるためには、今、何をすべきか？全体を見て、仕事を進めてください。

3つ目は、「報告、特に悪い報告は早めにする事」です。ミスしてしまったことや何かトラブルが起きたりしたときにいつまでも一人で悩まずにまずは、上司に報告しましょう。遅くなればなるほど、取り返しがつかなくなります。良い報告は、少々遅くなくても大丈夫ですが、悪いことはできるだけ早めに報告してください。

そして、レベルアップのためには「できない」を探すのではなく「どうしたらできる」ということを探してください。役場の仕事では「できません」を探してしまうケースが多い傾向にあります。そうではなくて、「どうしたらできるか」を探す、そんな努力を惜しまないでいただきたい。

以上、社会の変化に対応できるよう準備をしっかりし、将来を見据え、北栄町が持続可能なまちとして発展していくよう、“チームほくえい”で力併せて取り組んでいきましょう。

以上、年度初めの訓示といたします。

令和6年4月1日

北栄町長 手嶋俊樹